

カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→(P.〇〇)：このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

タッチ操作部のはたらき

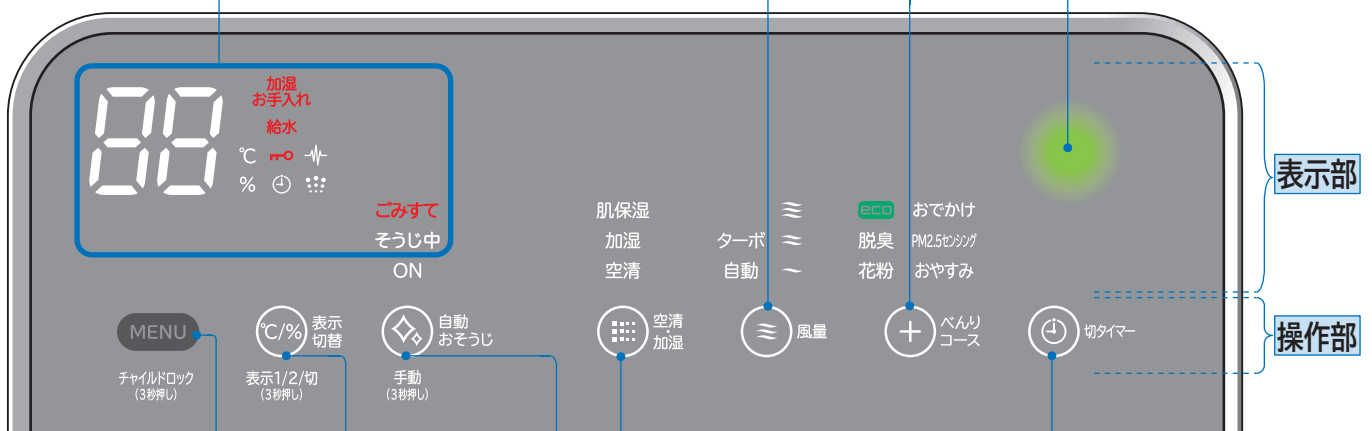
- すべての運転モードにおいて、空気清浄機能が働いています。
- タッチ操作部は、ガラスタッチ式です。
- タッチ操作部の表示が消灯している場合は、**MENU** をタッチするとタッチ操作部が表示されます。再び **MENU** をタッチするとタッチ操作部の表示が消灯します。
- タッチ操作部は上段が表示部、下段が操作部です。
- タッチ操作部にタッチして設定を切り替えてお使いください。

お知らせ表示	
湿度・温度モニター	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中、製品が感知した温度または湿度を表示します。あくまでも目安です。→ (P.28) ●切タイマーの設定時間を表示します。例：2h、4h → (P.24) ●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。例：[C]、[F] など → (P.45)
加湿 お手入れ	加湿フィルターのお手入れ時期をお知らせします。運転時間によるお知らせ(目安)です。→ (P.30~33) (点灯後に電源プラグを抜くとリセットされ消灯します)
給水	水タンクの水が少なくなるとお知らせをします。→ (P.33, 34)
	チャイルドロックを設定したときに点灯します。→ (P.25)
	切タイマー設定をお知らせします。→ (P.24)
	PM2.5センシング設定をお知らせします。→ (P.24)
	加湿、肌保湿運転モードをお知らせします。→ (P.21)
ごみすて	自動おそうじユニットのごみすて時期に点灯します。運転時間によるお知らせ(目安)です。→ (P.36, 37) (点灯後に電源プラグを抜くとリセットされ消灯します)
そうじ中	自動おそうじ運転中に点灯します。→ (P.26, 27)

風量 → (P.21)
風量を切り替えたいときに操作します。

べんりコース → (P.22)
べんりコースを選ぶときに操作します。

クリーンモニター → (P.28)
ニオイセンサー・ダストセンサーが感知した空気の汚れ度合いを色の变化でお知らせします。



MENU

- 表示部・操作部の表示が消えている場合は最初にタッチします。
- 切タイマーの設定を確認するときに操作します。→ (P.24)
- チャイルドロック(MENUを約3秒長押し)誤操作を防止したいときに操作します。→ (P.25)

表示切替

- 温度・湿度モニターの表示を切り替えます。→ (P.24)
- タッチ操作部の表示内容を切り替えます。(表示切替を約3秒長押し) → (P.20)

空清・加湿 → (P.21)
運転モードを切り替えます。

切タイマー → (P.24)
切タイマーを設定するときに操作します。

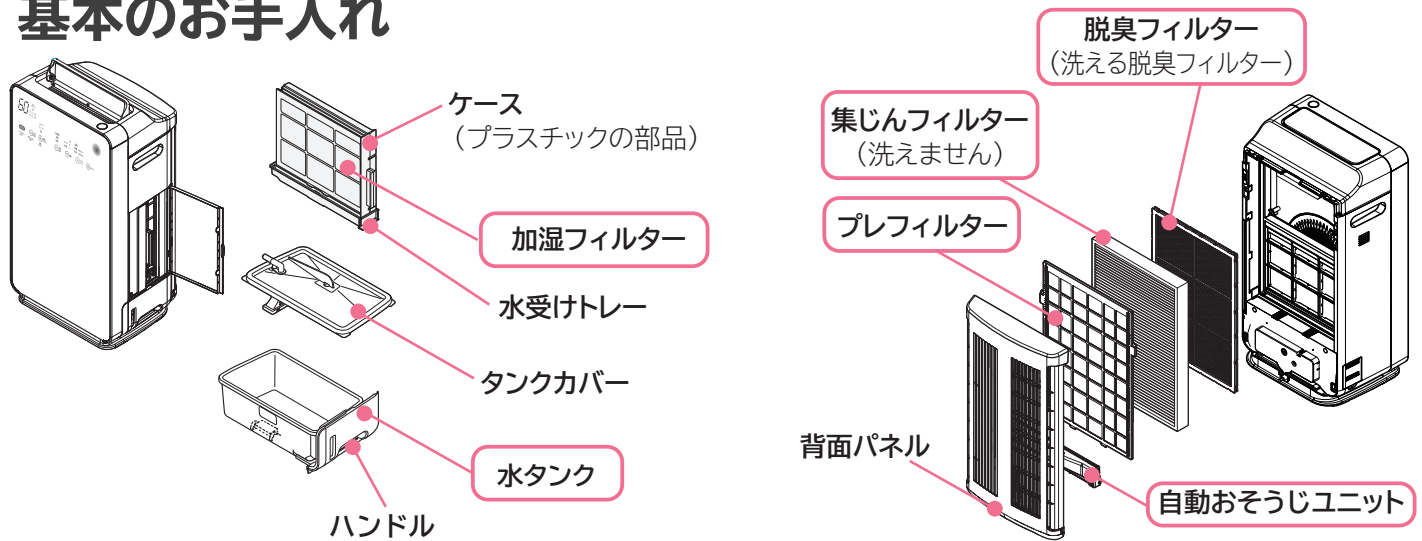
自動おそうじ → (P.26, 27)

- 自動おそうじを設定するときに操作します。

表示部	設定内容
表示なし	自動おそうじを設定しない
ON	自動おそうじを設定する

- 自動おそうじを手動で行うときに操作します。(自動おそうじを約3秒長押し)

基本のお手入れ



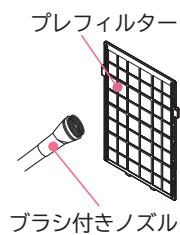
お手入れするときは

運転が停止していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜く

- 運転中のときは、① 電源ボタンを押して、運転を停止してください。

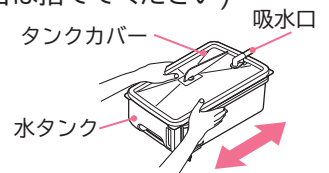
プレフィルター (こまめにお手入れしてください) → (P.40)

- 掃除機などでほこりを取り除く。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。
- 汚れがひどい場合は、強い力を加えずに市販のやわらかいスポンジで水洗いをして、十分に水を切って、日のあたらぬ風通しのよい場所で乾燥させてください。
- プレフィルターに付着したほこりは、種類や量または付着場所によっては自動おそうじユニットのブラシがかき取れなく、プレフィルターに残る場合があります。またプレフィルターの裏面にも付着する場合があります。定期的に確認して、プレフィルターのお手入れをしてください。
- 1回の自動おそうじの運転では、プレフィルターに付着したほこりは多少残る場合があります。繰り返し自動おそうじの運転を行うたびに、プレフィルターに残ったほこりがたまるのを防止します。



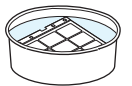
水タンク (毎日) → (P.34)

- 必ず1日1回は新しい水道水に交換してください。(タンクに水が残っている場合は捨ててください)
- 水道水を少量入れ、タンクカバーと水タンクをしっかりと押さえながら振り洗いをしてください。(水を入れ換えて2~3回)



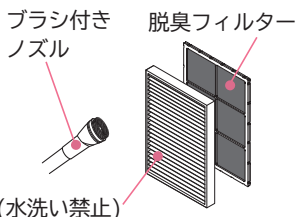
加湿フィルター (約1ヶ月に1回以上) → (P.31)

- ケースから外さないでください。
- 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけ置き洗いをします。
- 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)
- 軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)
- 水あかが落ちにくいときはクエン酸をご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。→(P.31)



集じん・脱臭フィルター (こまめにお手入れしてください) → (P.40)

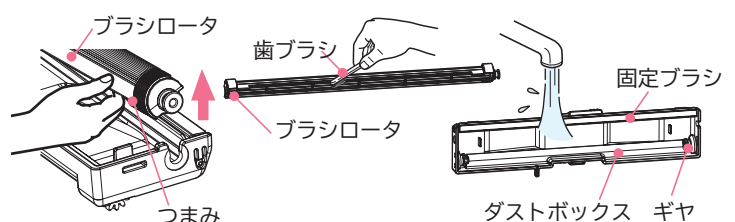
- 集じんフィルター、脱臭フィルターのほこりはおい原因になるので、掃除機などで取り除いてください。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。



自動おそうじユニット → (P.38, 39)

(こまめにお手入れしてください)

- 使用環境によって、ほこりの量は異なります。ごみすてランプが点灯しなくても、こまめに自動おそうじユニットのダストボックスを確認して、ごみ捨てとお手入れを行ってください。
- ユニット内のごみを捨てたあと、掃除機のブラシ付きノズルを軽くあててほこりを吸いとり、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合はブラシロータを取り外して、ブラシロータ、固定ブラシ、ダストボックスを使い古しの柔らかい歯ブラシなどで汚れを落としてください。
- 水洗い後は、陰干しで十分に乾燥させます。



脱臭フィルター (約6ヶ月に1回以上) → (P.41)

脱臭性能を維持するため、こまめなつけ置き洗いをおすすめします。

- 掃除機などでほこりを取り除く。
- 水またはぬるま湯(約40℃)に約3時間程度つけ置き洗いをします。
- 陰干しで十分に乾燥させます。(風通しのよい場所で約1日)
- ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。

